



発行
一宮市児童育成連絡協議会
事務局
一宮市栄3丁目1番2号
尾張一宮駅前ビル4階
(一宮市社会福祉協議会内)
TEL 0586-85-7024
FAX 0586-85-7025
令和7年3月19日

ウェブサイト「一の宮っ子」<https://www.intell-inc.com/ichinomiya.jido-ren/>

新年子ども会大会

木曾川町連区 松山子ども会
六年 伊藤 京



▲一宮ジュニアウインドオーケストラ

ぼくは、第76回一宮市新年子ども会大会に参加させていただき、一番印象に残ったのは、一宮ジュニアウインドオーケストラです。オープニング曲がマツケンサンバIIで一緒に行った友達と歌いながら盛り上がりました。他にも、崖の上のポニョやおどるポンポコリンなど様々な世代の人が楽しめたと思います。
楽器の紹介では、クラリネット、オーボエ、サクソ、トロンボーン、トランペットで一番難しい楽器は木管楽器のオーボエと教

えてもらいました。中学生になったら、吹奏楽部に入りトランペットかトロンボーンにチャレンジしたいと思っています。

次に印象に残ったのは、大和町連区観音寺子ども会の「大和西小学校〇×クイズ」です。他の学校の事を知る機会になり、シャインマスカットが給食にでるなんてうらやましいと思いました。北方町連区北方子ども会「防災クイズ」はいつもおこるかわからない地震の備えの再認識する機会を与えてもらいました。観客のぼくたちも楽しめるすばらしい大会でした。

今伊勢町連区 西更屋敷子ども会
六年 武藤 美麗

六年生になったばかりの頃、お母さんからこの新年子ども会大会の司会をお願いされました。昨年の子ども会大会を見に行っていたので、私にも大勢の人の前で司会ができるのかもしれないと不安でいっぱいでした。台本を貰った秋ごろから、すらすら読めるように練習をしました。一緒に司会をする水野さんと打ち合わせをしてきました。



▲司会がんばりました

当日のリハーサルでは、緊張してしまい、早口になってしまったり、間違えて笑ってしまったり、間違ったので、本番までの時間を利用して何度も練習をしました。顔をみるたび連区の木村さん、杉山さんから、お言葉をかけてもらい、頑張ろうと思いました。本番は、聞き手の気持ちを考え司会をすることができました。

子ども会の発表や、楽器の演奏もすばらしかったです。とても良い経験ができました。

あそびの発表

北方町連区 北方子ども会
六年 福井 陽大

ぼくたち、北方町連区北方子ども会は、今年「防災について考える」をテーマとして一年間活動をしてきました。

その中から実際に行った「防災〇×クイズ」の発表をしまし

第76回 一宮市新年子ども会



▲防災〇×クイズ

た。クイズにすることで、低学年の子にも、より分かりやすく防災について知ってもらうこともできました。
そして、色々な、防災体験をすることで、いざという時に自分たちができることは何だろう？と家族や友達と話すことができました。
当日は、他の子ども会の方たちの発表も聞くことができ、学年の枠をこえて楽しめるのが子ども会なんだなと思いました。
ぼくは、とてもきん張っていて、しっかりと話すことができ、不安だったけれど、会場の方たちにも参加してもらい、北方のみんなと楽しく発表することができて、とてもいい経験になったなと思いました。
この経験を下の学年の子たちにも伝えていきたいなと思います。

大和町連区 観音寺子ども会

六年 則武 美帆

私達、観音寺子ども会は、現在41名で活動しています。今回は六年生7名と四年生1名であそびの発表を行いました。発表したあそびは「大和西小学校〇×クイズ」です。クイズを二人で言い、観客のリアクションを楽しみながら、残りのメンバーが絵に書いた答えを発表しました。

あそびの発表の約4ヶ月前から、何回も集まり絵を書いたり、練習をして、大変でしたが、何回もやっけていくうちに緊張がうすれていきました。本番では、観客が問題ごとに大きいリアクションをしてくれたり、〇と×のポーズをしてくれて大成功でした。

私は、六年生なので子ども会の行事に参加することがあと少しですが、この大会のためにやってきたことを中学校生活に活かしていきたいと思えます。

大きな舞台に立つという貴重な経験をさせていただき、小学校時代の大きな思い出になりました。子ども会の役員の皆さん、準備と見守りをしていただき、ありがとうございました。



▲大和西小学校〇×クイズ
大成功でした！



かべ新聞

※審査は中日新聞一宮総局に依頼しました。
審査員(敬称略)

- 中日新聞一宮総局長 市川 真
- 中日新聞NIE事務局長 重村 敦
- 中日新聞NIEコーディネーター 鷲見 欣尚



富士連区 花岡子ども会



富士連区 花岡子ども会

六年 新井 陸斗

ぼくたち花岡子ども会は、子ども会で行われる行事や花岡町内の方々と一緒に行う行事についてかべ新聞を作りました。

まず、どんな行事があるのか書き出していきました。小さな行事も入れると、思ったよりたくさんあることに気がつきました。桃花祭やラジオ体操やもちつき大会など、地域の方々と協力して一緒に楽し

む行事がいくつかあることも、花岡子ども会の特色だと思っています。

それぞれの行事について、だれが何を書くのかみんなで話し合っていました。自分で考えて自分の言葉で書くということになり、楽しかったことやうれしかったこと、大変だったこと、感想などを書きました。余白の部分にはイラストや折り紙でかざりつけをして、子ども会の明るい感じが出るように、また読みやすさも考えて、カラフルに仕上げました。このかべ新聞で、ぼくたちの町の良さや地域の人との関わり大切さが伝わればいいなと思いました。

講評

上段に「自慢がいっぱい、これが私たちの子ども会」とあります。この言葉のとおり、四季折々の行事が、全部で12件も紹介されています。各記事には、行事の様子や特徴、そして皆の思いが詳しく書かれています。加えて地元の神社の説明や見守り隊の方々への感謝の言葉もあり、盛りだくさんの紙面。まさに「必見 自慢がいっぱい」ですね。

優秀作品



萩原町連区 戸荻子ども会
六年 川島 彩織

私たち戸荻子ども会は、「みんなの推しは？」というテーマで自分たちの好きな所を見つけ新聞を作りました。

戸荻のすばらしい所をみなさんに少しでも知ってもらいたいという思いで取り組みました。

戸荻には、戸荻グラウンド、萬葉公園、テニスコートがあり、春には、河津桜や梅がともきれいに咲きます。夏には、盆踊りが開催され、夕方には、とてもきれいな夕日が見られます。新幹線沿いの朝日、夕日は、新幹線とセットで見えるかもしれません。

新聞を作って行くうえで、戸荻はとても自然が豊かで、遊ぶ所がたくさんあり、今まで知らなかった萬葉の歴史を知ることが出来ました。また、多くの人に支えてもらっていることを改めて感じました。ぜひ多くの人にとってもすてきな戸荻に訪れて欲しいと思います。

戸荻のみんなと新聞作りを通して、心が一つになり、とてもすてきな作品を作り上げることが出来ました。



萩原町連区 戸荻子ども会

講評

中央にある大きな地図が目を引きまします。さらに見出しの「みんなの推しは」や、各記事の「来てみてください」という言葉から、多くの人に訪れてほしい気持ちが伝わってきます。「予約なくても遊べる」などの記述もあるので、初めて訪れる人に親切ですね。萬葉公園の名前の由来を知り、美しい夕日の写真を見て、一度訪れてみたいとなりました。

優秀作品

千秋町連区 はね子ども会

六年 田中 里奈



私達、はね子ども会は、夏の一大イベントで60名も参加した夏祭りをかべ新聞にすることにしました。

公民館の一階二階の全部屋に屋台を用意し、一階は人気のヨーヨーつりとスーパードールすくい、二階は的当て、わなげ、かき氷をやりました。六年生は運営スタッフをやり準備の手伝い(ヨーヨー作りも体験)からゲームの進行、かき氷は業務用の機械とブロック氷を削ってシロップをかけて渡すお店の様な体験もさせてもらいました。運営は初めてで大変だったけど楽しかったです。小さい子達もうれしそうにかき氷を食べている姿が印象に残りました。

参加者にかき氷や風船のカードにメッセージを書いてもらいました。また窓やかべに飾った祭りのイラストや文字を終了後に切って新聞に再利用し、祭りの思い出をそのまま残せるようにしました。皆が笑顔の写真を選び、楽しさが伝わるようその時の気持ちやコメントを入れまとめました。

残りの行事も六年生で盛り上げて、楽しい子ども会にしていきたいと思います。



千秋町連区 はね子ども会

講評

数ある行事の中から夏祭りに焦点を絞っています。それを掘り下げて紹介する、よいアイデアです。また、ともすると耳目を集めようと、紙面を目いっぱいカラフルにしがちです。その点、この新聞は落ち着いた色合いでまとめられていますね。そんな紙面の色使いからも、ほのほのとした夏祭りの雰囲気を感じられます。

ボランティアフェスティバル



大徳連区 富田中町子ども会
五年 春日井 仁太



十月二十日頃はボランティアフェスティバルに参加してきました。初めての参加だったので何があるんだろうとドキドキしていました。

子ども会のブースでは工作が人気でたくさんの方が参加していました。ほくもバルーンアート、プラ板作りに参加

しました。作り方を優しくおしえてくれたので僕も楽しく作ることができました。ブースにはたくさんのかべ新聞があり、そこで他の子ども会の活動を知ることができました。みんな笑顔で一生懸命活動していることが知れてよかったです。

他にも避難所体験もしました。ダンボールベッドは少し硬かったけど、丈夫で床より寝心地がよかったです。南海トラフなどの大きな災害がいつ発生するかも分からず不安も多い中実際に体験できたのはとてもよかったです。

ボランティアという優しい活動の大切さをお父さんにも教えてあげたら知らないことばかりでとても良かったです。ほくも優しさをたくさんの人に広げていきたいです。



子ども会指導者

代表研修会

向山連区 どんぐり子ども会
指導者 杉下 宏美



▲研修会へようこそ

子ども会指導者代表研修会に参加させていただきました。市内の子ども会の指導者さんと、一年間の振り返りや、次年度の役員さんに伝えたいことなど、様々な意見交換をすることができました。

子ども会の会員数や子ども会自体が減少していく中で、どのようにしたら子ども達が楽しめるか、役員の負担を減らせるか、各指導者さんの意見を聞くことができました。

初め私は、子ども会活動に消極的な気持ちでいました。しかし、子ども達や地域の

方々と関わる中で、多くの経験を積むことができました。

大変なこともありましたが、その分、一緒に楽しむこともできたとおもいます。

この研修会に参加して、子ども会の存在意義を考えるきっかけになりました。

人との関わりが希薄になっていく現代で、他学年や近所の子ども、地域の方との交流に、子ども会の活動が大切であるということに気がつきました。

これからも、子ども達が参加したいと思える活動になっていけばいいと思います。



▲活発な意見交換

萩原町連区 高木子ども会
指導者 鶴飼 康世



▲今後の活動へ活かしていきます

子ども会指導者代表研修会に参加し、市内の指導者の方々と一年間を振り返り、感じたことを共有しました。

どの子ども会も「会員数が減っている」「役員の負担が大きい」と同じ悩みを抱えています。変えていきたいながら活動を継続させていきたい」という気持ちは同じでした。町内会の回覧板を用いて子ども会の活動をお知らせしたり、近隣の子ども会と合同で活動したり、負担軽減のために活動を精選したり、様々な工夫をしながら子ども会活動にかかわる皆様のことを慮っていました。また、指導者を体験することで人間関係を

豊かにすることができたと感じている方々ばかりでした。

助言者の方がおっしゃった「子どもにとって参加できる場所があるということが大切」という言葉が強く印象に残っています。学校以外に子どもたちが参加できるような選択肢を残すためにも、地域全体で、時代の変化に合わせながら、持続可能な子ども会を目指していくことが求められていると感じました。

表彰

第62回
愛知県子ども会大会

県知事表彰

今伊勢町連区

西吞光寺子ども会



▶桐山さん親子

県知事感謝状

一宮市児童育成連絡協議会
内田 清 様

県社協会長表彰

神山連区 神山2丁目子ども会

西成連区 さくら子ども会

県子連会長表彰

向山連区 向山1丁目子ども会

葉栗連区 大毛子ども会

県子連会長感謝状

萩原町連区 光田 道成 様



広報委員

一年間子ども会活動の原稿をお寄せいただきありがとうございました。大変でしたがとても良い経験ができました。ありがとうございます。

河辺 三代・赤野 ルミ子
松野 真紀・栗本 博子

